

エコアクション21

環境経営レポート



大船渡湾

2024年7月1日 発行

地域と共に、未来を築く

特定建設業

 株式会社 菊池組

目次

1	環境経営方針	1
2	会社概要	2
3	対象範囲	3
4	環境活動実施体制	3
5	環境経営目標	4
6	環境経営計画	5
7	環境経営目標の達成状況と目標の見直し	6
8	環境経営計画の実施状況及び評価	7
9	環境関連法規等の遵守状況の確認	8
10	代表者による全体評価・見直し・指示	9
11	その他環境保全活動	10

地域と共に、未来を築く

特定建設業



株式
会社

菊池組

1. 環境経営方針

環境基本理念

建設業は公共性が高く自然との関わりがとて深い業種です。ですが建設業の事業そのものが自然環境を変化させるものであり、同時に重機や車両の使用で環境に負荷を与てきました。

私たち 株式会社 菊池組はかねてより『地域と共に、未来を築く』が経営理念です、まさに地域と未来のために、自然環境に負荷を与てきたことを真摯に受け止め、「エコアクション21環境マネジメントシステム」を導入し、全社を挙げて環境負荷低減・環境保全活動を定着・向上させて、環境経営の継続的改善をしていくことを宣言します。

行動指針

燃料、電力等のエネルギー使用量を削減して、二酸化炭素排出量を削減します。廃棄物排出量を抑制するとともに、建設副産物の再資源化を推進します。

水資源の節約に努め、生活排水を軽減し周辺環境に配慮します。

環境関連法規等を遵守します。

環境保全に関する社会貢献活動を推進します。

社員のスキルアップ、資格取得を推進し、生産性を高める。

上記の環境方針を達成するために、教育や日常活動を通じて全従業員に周知徹底するとともに、環境保全に関する知識を深め、環境保全に対する意識の向上を図ります。

制定日 2022年12月20日

地域と共に、未来を築く

特定建設業



株式
会社

菊池組

代表取締役 佐々木 孝雄



2. 会社概要

組織の概要

社名

株式会社 菊池組

代表者

代表取締役 佐々木 孝雄

本社所在地

〒022-0002

岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森61番地7

TEL. 0192-27-7700

FAX. 0192-27-7701

資本金

3,000万円

創業

昭和18年5月20日

従業員数

33名(令和4年5月現在)

許認可業種

- ・特定建設業【岩手県知事許可(特-4)第890号】
- ・一般建設業【岩手県知事許可(般-4)第890号】
- ・排水設備工事指定店【大船渡市指定下水第6-28号】

業務内容

総合建設業(土木工事一式、建築一式)

認証等

- いわて子育てにやさしい企業
- いわて女性活躍認定企業 ステップ2
- 大船渡市消防団協力事業所認定
- 予備自衛官等協力事業所認定

3. 対象範囲

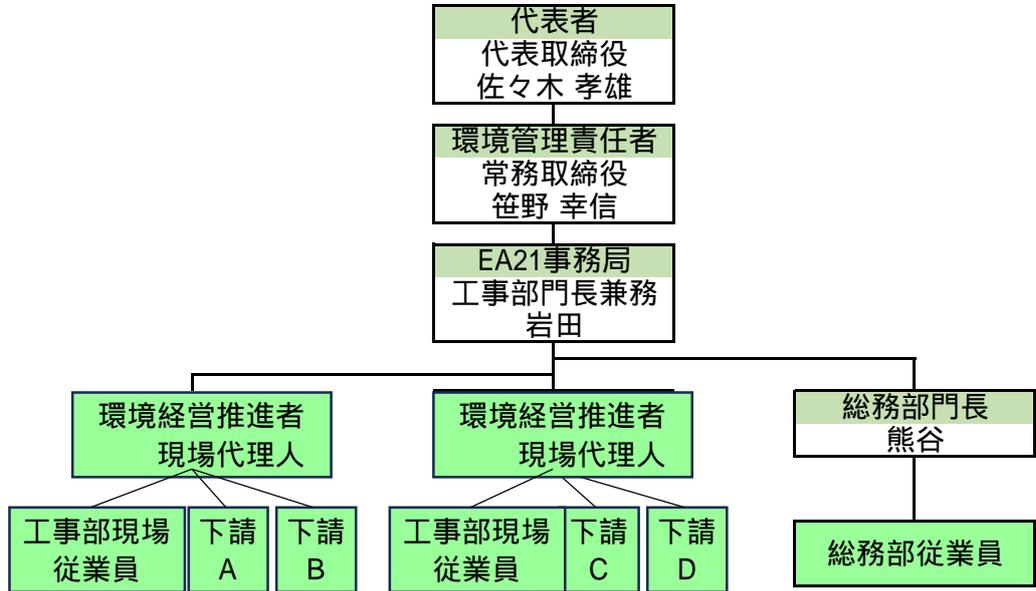
認証・登録の範囲

全サイト、全活動、全従業員

レポートの対象期間 2022年6月1日 ~ 2023年5月31日

レポートの発行日 2024年7月1日

4. 環境活動実施体制



環境管理システム 役割・責任・権限	
代表者 代表取締役 佐々木 孝雄	<ul style="list-style-type: none"> 経営における課題とチャンス の整理と明確化 環境経営に関する統括責任 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 効果的な実施体制の構築 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標、環境経営計画・環境管理実施体制を承認 代表者による全体評価と見直し実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 常務取締役 笹野 幸信	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標、環境経営計画・環境管理実施体制を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21事務局 岩田 (総務部門)	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画・環境管理実施体制原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開
部門長 工事部 岩田 総務部 及川	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 自部門に係る環境活動計画の実施、達成状況報告 自部門に係る緊急事態訓練の実施 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 工事現場への指導と点検(工事部門長)
環境経営推進者 各工事現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> 各作業所において、関係者への環境方針の周知、環境教育・訓練の実施 作業所における環境活動計画の実施、達成状況報告 作業所における関係する緊急事態訓練の実施 作業所の問題点の発見、是正、予防処置の実施 作業所の環境に関する創意工夫の計画と実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
各下請け業者	<ul style="list-style-type: none"> 環境取組みへの協力 作業所の決められたルールを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標

基準年を2021年6月1日～2022年5月31日の1年間とする。(以後も年度を6月1日～5月31日とする)
 基準年度の基準値をもとに中期目標値を定めた。

項目	単位	基準年実績 2021.6.1 ～2022.5.31	中長期目標		
			2022年度 (目標削減率)	2023年度 (目標削減率)	2024年度 (目標削減率)
1)電力の削減					
電気使用量	KWh	34,165	33,823 -1.0%	33,482 -2.0%	33,140 -3.0%
	0.483kg-CO2/L	16,502	16,337 -1.0%	16,172 -2.0%	16,007 -3.0%
2)自動車等燃料の削減					
0					
ガソリン	L	29,275	28,982 -1.0%	28,689 -2.0%	28,396 -3.0%
	2.32kg-CO2/L	67,917	67,238 -1.0%	66,559 -2.0%	65,880 -3.0%
軽油	L	118,400	117,216 -1.0%	116,032 -2.0%	114,848 -3.0%
	2.58kg-CO2/L	305,471	302,416 -1.0%	299,361 -2.0%	296,307 -3.0%
灯油	L	1101	1,090 -1.0%	1,079 -2.0%	1,068 -3.0%
	2.49kg-CO2/L	2741	2,714 -1.0%	2,687 -2.0%	2,659 -3.0%
LPG	kg	65	64 -1.0%	64 -2.0%	63 -3.0%
	3.00kg-CO2/L	195	193 -1.0%	191 -2.0%	189 -3.0%
CO2排出量合計		392,827	388,898 -1.0%	384,970 -2.0%	381,042 -3.0%
二酸化炭素排出量					
1)一般廃棄物					
0					
一般廃棄物量	kg	565	560 -1.0%	554 -2.0%	548 -3.0%
			2)産業廃棄物		
0					
再生資源化率	%	95.0%	96.0% +1%	97.0% +2%	98.0% +3%
			1)水使用量の削減		
0					
水使用量	m3	565	559 -1.0%	554 -2.0%	548 -3.0%
			2)環境保全への協力及び活動		
0					
社会貢献	回	3	3	3	3
			3)社員のスキルアップ・生産性向上		
0					
資格取得・セミナー受講数		30	30	30	30
			その他		
0					

< 補足事項 >

- ・目標値は項目ごとに設定する。
- ・二酸化炭素排出量係数は、環境省公表の係数で換算しています。
- ・産業廃棄物排出量は工事により大幅に変動するため、再資源化率のみ目標・評価を設定する。

6. 環境経営計画

二酸化炭素排出量の削減

1) 電力の削減

- ・ 人のいない場所の照明は消す(昼休み12:00～13:00完全消灯)
- ・ コピー機は節電モードに設定
- ・ パソコン電源OFF(外出時、退社時)
- ・ エアコンの稼働改善
(終業前は早めの電源オフ・適正気温時の電源オフ)
- ・ エアコンの稼働環境改善
(戸締まりの徹底、夏季はブラインドなどで遮光)
- ・ エアコンの温度設定 夏季26度 冬季22度
- ・ エアコンと合わせサーキュレーターを使用し、冷暖房の高効率化を図る
- ・ 現場の電力使用取組状況を確認する

2) 自動車燃料等の削減

- ・ エコドライブの推進(急の付く運転の防止・アイドリングストップ・ドラレコの設置)
- ・ 計画的な運行(ルート選定・外出回数を減らす)
- ・ 現場移動はできるだけ乗り合わせて、使用台数を減らす。
- ・ 車両の燃料補給時の走行距離を記録して燃料消費量を継続的に計測する。
- ・ タイヤの空気圧を最低月1回点検・補充する

廃棄物排出量の削減

1) 一般廃棄物

- ・ ゴミの分別(紙、段ボール、ペットボトル)、再資源化
- ・ ペーパーレス化の推進
- ・ zoom会議の推進(会議資料はPDF=紙資料削減)
- ・ コピー用紙の削減(社内回覧等は裏紙利用)
- ・ ミスプリント削減(印刷前の確認の徹底)
- ・ レジ袋の削減(マイバック推進)

2) 産業廃棄物

- ・ 分別の徹底
- ・ 処分業者の選定(再生資源化優先)

その他

1) 水使用量の削減

- ・ 社内・現場での水道利用時「節水」啓発(掲示)

2) 化学物質の使用量削減(工事内容による)

- ・ 環境負荷が少ない材料の選定
- ・ 無駄なく使用する(適切な施工計画作成・使用数量の把握)

3) 環境保全への協力及び活動

- ・ 地域の清掃活動(ボランティア活動)
- ・ 月1回の定例会議で環境に関する項目を議題とする(変更点周知や状況報告など)

4) 社員のスキルアップ・生産性向上

- ・ 資格取得・セミナー受講の推進(資格取得・講習・セミナー受講数で判断)
- ・ 過去の工事データ・作成した様式などを社内オンラインストレージで共有する
- ・ 若手が経験を積む機会を増やす

(社員のスキルアップ・生産性向上により、無駄・残業・休日就労の削減)

7. 環境経営目標の達成状況と評価

1年間(2022年6月1日～2023年5月31日)の実績を評価を行った。

評価基準期間：2021年6月1日～2022年5月31日

実績評価期間：2023年6月1日～2024年5月31日

		基準値	目標	実績	評価
		2021.6.1 ～2022.5.31	[上段]値 [下段]削減率	[上段]値 [下段]削減率	
二酸化炭素排出量の削減	1)電力の削減				
	電気使用量	KWh	34,165	33,482 -2.0%	29,144 -13.0%
		0.483kg-CO2/L	16,502	16,172 -2.0%	14,077 -13.0%
	2)自動車等燃料の削減				
	ガソリン	L	29,275	28,689 -2.0%	22,376 -22.0%
		2.32kg-CO2/L	67,917	66,559 -2.0%	51,911 -22.0%
	軽油	L	118,400	116,032 -2.0%	21,878 -81.1%
		2.58kg-CO2/L	305,471	299,361 -2.0%	56,444 -81.1%
	灯油	L	1,101	1,013 -8.0%	556 -45.1%
		2.49kg-CO2/L	2,741	2,687 -2.0%	1,384 -48.5%
	LPG	kg	65	64 -2.0%	53 -16.8%
		3.00kg-CO2/L	195	191 -2.0%	159 -16.8%
	CO2排出量合計		392,827	384,970 -2.0%	123,976 -67.8%
	廃棄物の削減	1)一般廃棄物			
一般廃棄物		kg	565	554 -2.0%	277 -50.0%
2)産業廃棄物					
産業廃棄物再生資源化	%	95.0%	97% 2.0%	100.0% +3.0%	
その他	1)水使用量の削減				
	水使用量	m3	565	554 -2.0%	218 -60.6%
	2)環境保全への協力及び活動				
	社会貢献	回	3	3	7
3)社員のスキルアップ・生産性向上					
資格取得・セミナー受講数		30	30	93	

実績評価：よくできた できた まあまあ ×できなかった

< 補足事項 >

- ・目標値は項目ごとに設定する。
- ・二酸化炭素排出量係数は、環境省公表の係数で換算しています。
- ・産業廃棄物排出量は工事により大幅に変動するため、再資源化率のみ目標・評価を設定する。

8. 環境経営計画の実施状況及び評価

評価基準期間：2021年6月1日～2022年5月31日

実績評価期間：2023年6月1日～2024年5月31日

2024年6月1日以降も取組継続

環境経営計画	実績評価	今後の取組及び対策等
1、二酸化炭素排出量の削減		
1) 電力の削減		
・人のいない場所の照明は消す(昼休み12:00～13:00完全消灯)		できた(継続)
・コピー機は節電モードに設定		できた(継続)
・パソコン電源OFF(外出時、退社時)		できた(継続)
・エアコンの稼働改善 (終業前は早めの電源オフ・適正気温時の電源オフ)		よくできた(継続)
・エアコンの稼働環境改善 (戸締まりの徹底、夏季はブラインドなどで遮光)		できた(継続)
2) 自動車燃料等の削減		
・エコドライブを心がける (急発進・急加速・急停止の防止、アイドリングストップ)		できた(継続)
・計画的な運行(ルート選定・無駄を省き効率化)		できた(継続)
・現場移動は乗り合わせて		できた(継続)
2、廃棄物排出量の削減		
1) 一般廃棄物		
・ゴミの分別(紙、段ボール、ペットボトル)、再資源化		できた(継続)
・ペーパーレス化の推進		あまりできていない(継続)
・コピー用紙の削減(社内回覧等は裏紙利用)		あまりできていない(継続)
・レジ袋の削減(マイバック推進)		あまりできていない(継続)
2) 産業廃棄物		
・分別の徹底		できた(継続)
・設計数量と実績数量の比較管理		できた(継続)
・処分業者の選定(再生資源化優先)		できた(継続)
3、その他		
1) 水使用量の削減		
・社内水道利用時「節水」啓発(掲示)		できた(継続)
2) 環境保全への協力及び活動		
・社会貢献(ボランティア活動)		できた(継続)
3) 社員のスキルアップ・生産性向上		
・資格取得・セミナー受講の推進(資格取得数・CPDSユニット数で判断)		できた(継続)
・環境に関する勉強会開催・セミナー等の受講		できた(継続)
過去の工事データ・作成した様式などを社内オンラインストレージで共有する		できた(継続)
・若手が経験を積む機会を増やす		できた(継続)

実施評価：よくできた ○できた あまりできていない ×できなかった

10. 環境経営目標と計画の評価・結果についての考察

多くの項目は、現場を含めると工事内容によって大きく変動するので本社データで比較する。

1. 二酸化炭素排出量は目標を達成。

電力使用量は、(昨年度からは大幅に減少、基準年に比べても減少しているのでEA21の取組の効果がハッキリ出た。エアコンの使用状況の改善や温度設定の徹底、終業前にオフにする等の効果が大きかった。

燃料消費量についても改善した。当初はハイブリット車の導入や乗合せてどの程度改善するか不明だったが、データとしてははっきりと出たので取組は間違っていなかったため継続する。

灯油やLPGについても大幅に削減。工事で使用する現場がなかったのが大きい。

2. 廃棄物排出量の削減

一般廃棄物も目標達成。デジタル化を少しずつ取り入れて、ミスプリントの削減に取組み、分別して再資源化を推進した結果だと思われる。

今年度は産業廃棄物を排出する工事量が少なかったため再資源化率は高かった。

取組を継続する

3. その他

1) 水使用量は、目標を達成しているため取組を継続する。

2) 環境保全への協力及び活動は、今までは工事ごとにボランティア活動を行うことがあったが、今年度から社を挙げて計画的に活動を行うこととなったため目標を達成した。

ボランティア活動を行うことにより、社員の環境意識高揚につながるため、継続していくこととする。

3) 社員のスキルアップ・生産性の向上

大幅に増加、オンラインやオンデマンドのセミナーを取り入れたことが大きい

環境に関する勉強会開催・セミナー等の受講は、環境に関する取組みの重要性を伝え、このEA21環境経営レポートを利用し具体的な取組みを周知し、社員の意見も聞くことが出来たので有意義であった。当然、今後も継続する。

定例会議(月1回)で環境取組み変更や追加対策の周知を図った、今後も継続する。

生産性向上については、社内オンラインストレージの活用が進んだ。

測量機器「杭ナビ」を導入、今まで2~3人で行っていた測量作業を1人でも作業できるようになったので生産性向上。

若手とベテランをセットに配置する効果が出てきて、若手もどんどん成長しているため、今後も継続する。

一方、定年で退職する人も多く、年々社員数も減り、社員の平均年齢も54歳と高年齢化が進んでいる。

総括

Co2排出コストが2021年は51円/kg、2023年度は61円/kgと2年間で15%上昇しているが、指標となる本社のエネルギーコストは2021年度 1,072,327円、2023年度は843,191円と21.3%の削減と、大幅にCo2排出量の削減だけでなく、経営面でも効果が大きい。車両の運行についてエコ運転や乗合せ移動の推進、最新のハイブリット車の導入(安全機能も充実)は脱炭素化だけでなく交通事故のリスクも低下するので、今後も継続する。

廃棄物の再資源化を掲げるにより、廃棄物の排出量自体が減少するという好循環が生まれた。

10. 代表者による全体評価・見直し・指示

項目	変更の有無	見直しの指示事項等
環境経営方針	無し	変更なし
環境活動実施体制	無し	変更なし
環境経営目標	無し	変更なし
環境経営計画	無し	変更なし
環境関連法規等の遵守	無し	変更なし

全体評価

社員の環境経営に対する意識が定着し始めたと感じる。

取り組んだ結果が、データとして見える化し、社員のモチベーションUP、コスト面だけでなく安全面でもプラスの効果をもたらし、あらゆる面で好循環を生んでいる。

どの項目を見ても、目標を達成した。工事が少なく売上が大幅に減少したこともあるが、変動が少ない本社事務所の環境への負荷が大幅に減少したことが、EA21に取り組んだ結果である。

改善する項目は見当たらないが、今後はこの状態を継続することが大変になることが予想されるので、取組を一つ一つ改善しながら、社員の環境意識の低下を防ぐ工夫が必要だと思われるので、次年度はそういった面での取組を取り入れることとした。

上記の以外の項目は目標を達成しており、今後も継続するものとする。

2024年6月28日

株式会社 菊池組
代表取締役 佐々木 孝雄

6. 環境経営計画

二酸化炭素排出量の削減

1) 電力の削減

- ・人のいない場所の照明は消す(昼休み12:00～13:00完全消灯)
- ・コピー機は節電モードに設定
- ・パソコン電源OFF(外出時、退社時)
- ・エアコンの稼働改善
(終業前は早めの電源オフ・適正気温時の電源オフ)
- ・エアコンの稼働環境改善
(戸締まりの徹底、夏季はブラインドなどで遮光)
- ・エアコンの温度設定 夏季26度 冬季22度
- ・エアコンと合わせサーキュレーターを使用し、冷暖房の高効率化を図る
- ・現場の電力使用取組状況を確認する
- ・現場での環境対策の創意工夫を促す

2) 自動車燃料等の削減

- ・エコドライブの推進(急の付く運転の防止・アイドリングストップ・ドラレコの設置)
- ・計画的な運行(ルート選定・外出回数を減らす)
- ・現場移動はできるだけ乗り合わせて、使用台数を減らす。
- ・車両の燃料補給時の走行距離を記録して燃料消費量を継続的に計測する。
- ・タイヤの空気圧を最低月1回点検・補充する

廃棄物排出量の削減

1) 一般廃棄物

- ・ゴミの分別(紙、段ボール、ペットボトル)、再資源化
- ・ペーパーレス化の推進
- ・zoom会議の推進(会議資料はPDF=紙資料削減)
- ・コピー用紙の削減(社内回覧等は裏紙利用)
- ・ミスプリント削減(印刷前の確認の徹底)
- ・レジ袋の削減(マイバック推進)

2) 産業廃棄物

- ・分別の徹底
- ・処分業者の選定(再生資源化優先)

その他

1) 水使用量の削減

- ・社内・現場での水道利用時「節水」啓発(掲示)

2) 化学物質の使用量削減(工事内容による)

- ・環境負荷が少ない材料の選定
- ・無駄なく使用する(適切な施工計画作成・使用数量の把握)

3) 環境保全への協力及び活動

- ・地域の清掃活動(ボランティア活動)
- ・月1回の定例会議で環境に関する項目を議題とする(変更点周知や状況報告など)

4) 社員のスキルアップ・生産性向上

- ・資格取得・セミナー受講の推進(資格取得・講習・セミナー受講数で判断)
- ・過去の工事データ・作成した様式などを社内オンラインストレージで共有する
- ・若手が経験を積む機会を増やす

(社員のスキルアップ・生産性向上により、無駄・残業・休日就労の削減)

11.その他環境保全活動

月日	実施項目	内容
2023年6月18日	ボランティア	道路清掃活動 佐野橋・中井大橋・新田地区
2023年6月21日	建設業啓発活動	市内小学校での建設体験授業
2023年7月3日	ボランティア	ゴミ拾い 国道107号 荷沢パーキング
2023年7月27日	ボランティア	市施設の草刈り・清掃活動 アバッセ・陸前高田市民文化会館
2023年7月28日	ボランティア	大船渡市市道 草刈り 山馬越地区
2023年9月29日	建設業啓発活動	体験学習 高田第一中学校

その他 環境保全活動(写真)

エアコンの効率化
室外機に屋根



工事現場
ゴミの分別



建設業ふれあい体験授業



ボランティア活動



その他環境保全活動(写真2)

